



教育長賞：畠山 凛音さん

まちの話題



読書感想画コンクール展示より



市長賞：木村 あかねさん

Enjoy! Winter! 鹿角の冬を楽しもう

1月28日に道の駅おおゆで、鹿角国際交流協会と道の駅おおゆのコラボイベントが行われました。

広場には、参加者が作ったたくさんミニかまぐらと、アヒルの形の雪玉が並びました。また、子どもたちはタイヤチューブを使い、広場の丘の上からうつ伏せや連結など、さまざまな格好で滑って楽しんでいました。お昼には、きりたんぼ鍋や焚き火で焼いたマシユマロを食べたりして、寒さを吹き飛ばしました。

参加した外国人女性には、焼いたマシユマロの甘さに驚きながら「おいしい」と話し、笑顔でイベントを楽しんでいました。



焚き火&スノーキャンドル

1月28日に道の駅かづのあんとらあで、焚き火&スノーキャンドルイベントが開催されました。

広場には、およそ200個のスノーキャンドルが置かれ、日が沈むにつれてキャンドルの光が強くなり、幻想的な空間になりました。

キャンドルの優しい光の中、広場中央に設置された焚き火台の点火が行われると、大勢の観客が見守る中、大きな炎が燃え盛り、会場全体がその熱気に包まれました。これを皮切りに、キッズダンスパフォーマンスや津軽三味線スベシャルライブが行われ、観客らは幻想的な空間で行われるパフォーマンスにくぎ付けになっていました。

19時からは、およそ70発の花火が打ち上げられ、観客はその美しさに目を奪われていました。



野菜づくりの「コッ」講座

2月3日に文化の杜交流館コモッセで、野菜栽培について学ぶ「野菜づくりのコッ講座」が開催され、家庭菜園を楽しむ方から農業に携わる方までおよそ80人が参加しました。

農業や地域、食に関する雑誌などを発行している一般社団法人農山漁村文化協会の水野隆史氏を講師に迎え、栽培がしやすく、食味が良いため料理に使いやすいジャガイモの品種や、栽培中のひと手間で収量が倍になる枝豆の栽培法など、家庭菜園でも役立つ情報が目白押しで、参加者はメモを取りながら野菜づくりのコツを学びました。



大湯温泉雪まつり

2月11日に道の駅おおゆで、第41回大湯温泉雪まつりが開催されました。

3年ぶりの開催となった今回は、会場が多くの人でにぎわいました。餅まきから始まり、続く宝探しでは、幼児の部と小学生以上の部に分かれ、開始の合図が聞こえると、参加者は一斉に駆け出し、雪上にまかれた番号の書かれた札を探して、その番号と合う景品を交換しました。LED照明や生魚、ガソリン券などたくさん景品が用意され、交換所では参加者が笑顔で受け取っていました。

イベントの最後には、新型コロナウイルス感染症により中止していた2年分も合わせて、600発もの花火が打ち上げられました。訪れた方々は、足湯につかったり、少しでも高い位置で見ようと丘に登ったりしながら、思い思いの場所で、家族や友人とともに花火を鑑賞しました。花火が上がるたびに「すごい」「大きいね」「きれい」などの歓声が上がり、イベントは大盛況のうちに終了しました。



読書感想画コンクール展示

2月1日から12日にかけて文化の杜交流館コモッセで、市内小学生による読書感想画コンクール作品の展示が行われました。

このコンクールは、子どもたちに読書とふるさとに伝わる伝説・民話に親しんでもらおうと市内の図書館が企画したもので、市内の小学校と支援学校から108点の応募がありました。「だんぶり長者」や「八郎太郎物語」など、学年ごとに違う民話をテーマに、物語の場面を想像して描かれた作品が並んでいました。

市長賞に選ばれた十和田小学校6年の木村あかねさんの作品は、龍となった八郎太郎が正面から大胆に描かれている大迫力の作品です。はじき絵の技法や、画用紙の外まで続く龍の体が表現されている点が高く評価されました。



鹿角ガイド養成講座認定式

2月14日に、鹿角ガイド養成講座認定式が行われました。この講座は、市の観光を学び、伝え、広めるためのガイド育成プロジェクトで、森や山、歴史、食の案内人の育成が行われました。講座は、座学のほか、実際にガイドをする実地練習も行われ、受講者は最後に認定試験を受けます。

今回は24人がガイドに認定され、認定者を代表して金沢和美さんが「講座を通して、鹿角が魅力あるところだと再認識した。これを子どもから大人まで多くの人に伝えたい」と意気込みを話しました。

